

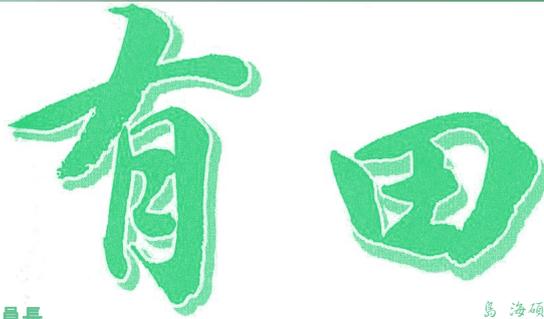


### No.2840

2017-2018年度

会長 成川 守彦  
 幹事 橋本 拓也  
 R広報委員長 應地 正章

担当：上野山（栄）副委員長



島海碩 書

第2640地区  
 例会日 毎週木曜日 12:30  
 例会場 紀州有田商工会議所6F  
 〒649-0304  
 有田市箕島33-1  
 紀州有田商工会議所2F  
 有田ロータリークラブ  
 Tel (0737) 82-3128  
 Fax (0737) 82-1020  
 創立 昭和34年6月15日  
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>  
 e-mail [office@aridarc.jp](mailto:office@aridarc.jp)

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



### 本日のプログラム

平成29年8月24日 第2841回

- 外部卓話：小川 さだ 氏（龍神は～と 代表）  
「みんなの集まる龍神に」
- ソング：「It's a small world」

### 前回の報告（第2840回例会）

開催日 平成29年8月17日(木)

点鐘 (成川(守)会長)

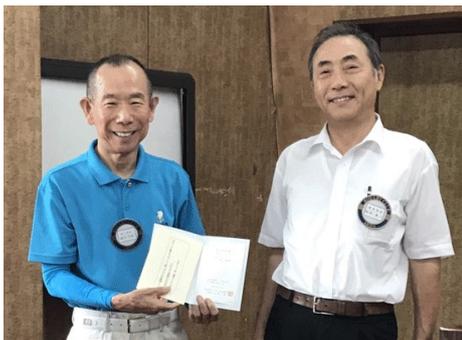
### ゲスト・ビジターの紹介

(橋爪(誠)親睦活動副委員長)

ゲスト：仁坂 吉伸 様(和歌山県知事)、和歌山特報社様

ビジター：玉木 久登 様

### 米山功労者表彰



ロータリー米山記念奨学会より成川(守)君へ感謝状が届きましたので、松村米山記念奨学会委員長より授与されました。

### ニコニコ箱の報告 (中元SAA)

成川(守)君：仁坂知事様、お忙しいところ、ようこそ有田RCへ。

橋本君：仁坂知事、本日はようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願ひ致します。

橋爪(誠)君：公務のお忙しい中、ようこそ有田RCへお越しいただきました。本日の卓話よろしくお願ひ致します。

岩橋君：仁坂知事、有田RCへようこそ。卓話よろしくお願ひ致します。

### 2017-2018年度クラブ方針

### ロータリーを知ろう

～温故知新～

### 次回のお知らせ

平成29年8月31日 第2842回

- 外部卓話：朴 辛宰 氏（米山奨学生）  
「効率的な勉強の仕方」
- ソング：「われら日本のロータリアン」



上野山(栄)君：仁坂知事様、お忙しい中、有田RCへお越し下さいましてありがとうございます。息子の所属する吉備中学の男子バスケットボール部が近畿大会で3位になり全国大会の出場することになりました。来週お休みさせて頂き応援に行ってきます。

川口君：仁坂知事、ようこそ有田ロータリークラブへお越し頂きありがとうございます。本日の卓話宜しくお願ひ致します。

児島君：仁坂知事さま、公務多忙の中、ご苦労さまです。お話し楽しみです。

嶋田(ひ)君：仁坂知事ご無沙汰しております。卓話宜しくお願ひします。

上野山(英)君：仁坂知事、本日、有田RCへのご来訪有難うございます。

橋爪(正)君：仁坂知事、大変御多用な中、当クラブへわざわざお越し下さりありがとうございます。

嶋田(崇)君：仁坂知事様、本日は公務多忙な中、有難うございます。

成川(雅)君：仁坂知事、本日の卓話楽しみにしております。

宮井君：本日は仁坂吉伸和歌山県知事様、ご多忙の中お出で頂きありがとうございます。地方創生についてお話、よろしくお願ひします。

脇村君：仁坂知事、お忙しいところお越しいただきありがとうございます。お話、楽しみにしております。

酒井君：仁坂県知事様、ようこそ有田ロータリークラブへ。地方創生のお話し楽しみです。よろしくお願ひします。

井上君：卓話大変たのしみしております。

石垣(洋)君：仁坂知事様、大変お忙しい中有田RCへお越しいただきありがとうございます。卓話楽しみにしております。

岩本君：仁坂知事様、本日はご用繁多の中、ようこそお出で下さいました。

松村君:仁坂吉伸様、地方創生について勉強させていただきます。玉木久登様、ようこそお越し下さいました。

中元君:仁坂知事、ようこそ有田ロータリークラブへ。

**出席報告** (井上例会運営委員)

本日の会員数29名  
 (出席規定免除会員9名)  
 出席会員数26名  
 (出席規定免除会員8名)  
 92.86%  
 7/27 93.10%  
 MU:嶋田(ひ)君

**会長の時間** (成川(守)会長)

「RI, RIBI, RI Theme, MOTTOS, Programs」

今日は、仁坂知事様におかれましては、公務ご多忙のところ、有田RCにお越しいただきありがとうございます。また、玉木県議会議員様、和歌山特報社様、ようこそお出でいただきました。



仁坂知事様は、「ダメ!ゼッタイ!」という薬物乱用対策推進本部長をされておられます。前回の例会から会員の皆様に募金をお願いしていますが、今日は、知事様のお陰でたくさん募金が集まったようです。ありがとうございます。

さて、前回の会長の時間で、「ロータリーの誕生」を少し話しましたが、1905年にシカゴでロータリーが誕生して112年になります。今やロータリーは、200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,533、会員数1,233,172人(2017年3月末)に達しています。会員数は、ここ20年間、大きな増減はありません。日本のクラブ数は、2,263、会員数89,383(4月末)です。日本では、会員数は大きく減少しました。20年前は12万人でした。

ところで、先月、RI会長エレクトの突然の不幸がありました。2018-19年度ロータリー年度会長に、イーストナッソー・ロータリークラブ(バハマ、ニュープロビデンス



島)所属のバリー・ラシン氏が選ばれました。対抗候補者がいない場合、同氏は2017年9月1日に会長エレクトとして宣言されます。彼は、私が2005、2006年にRI研修リーダーをした時の講師でした。皆様のテーブルに置けていますが、お祝いメッセージをおくりました。(写真は2017年国際協議会で、バリーと私)

<返事>

Thank you so much Mori. I really appreciate your comments and support. Hope our paths cross soon.Thanks.

<送信>

Dear Barry:

Congratulations on your nomination as the 2018-19 president of Rotary International. For the next ten months, you will be rushed preparing for the upcoming year. You have made great influence to many Rotarians for a long time. We believe you deserve the recognition and responsibility of the position.

Heartfelt congratulations and best wishes for your continued success.

Sincerely,

The Rotary club of Arida, Japan

President Morihiko Narukawa and all of the members

バリー様

この度は、2018-19年度国際ロータリー会長にノミネートされましたこと、誠にありがとうございます。今後10カ月は、来る年の準備に大忙しとなることでしょう。貴殿は長年にわたり多くのロータリアンの良い手本となってきました。貴殿の功績は会長の責務を果たすに相応しいと我々は信じています。心からのお祝いとともに、今後のご活躍を祈念致します。

有田ロータリークラブ(日本)会長 成川守彦、会員一同  
 .....

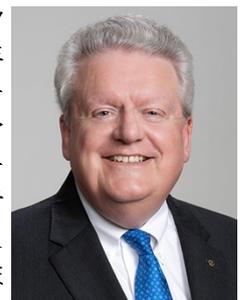
ラシン氏は会長として、公共イメージの向上と、ロータリーのインパクトを広げるためのデジタルツールの活用に力を入れたいと考えています。

「ロータリークラブが行っている良いことを知っている人なら、それに加わりたいと思うでしょう。関心のあるすべての人がロータリーの使命を支える活動に参加できるよう、参加や入会を促進する新しい方法を考えなければなりません」とラシン氏。「ロータリーの可視性を高めれば、より多くの人に入会の魅力を伝え、世界中で多くの良いことを実現しているこの会員制組織を支えることができます」

フロリダ大学で保健・病院運営のMBA(Master of Business Administration経営管理学修士)を取得し、医療教育機関であるAmerican College of Healthcare Executivesでバハマ初の特別研究員となりました。院長として37年間務めた医療機関Doctors Hospital Health Systemを最近退職し、現在は顧問を務めています。

1980年にロータリー入会。RI理事を経て、現在はロータリー財団管理委員会の副管理委員長を務めています。また、RI研修リーダーとK.R. ラビンドラン2015-16年度RI会長のエイドも経験しました。

同時に、2017-18年度国際ロータリー会長指名委員会は、2019-20年度国際ロータリー会長に、ジケーター・ロータリークラブ(米国アラバマ州)所属のマーク・ダニエル・マローニー氏を選出しました。対抗候補者がいない場合、同氏は2017年10月1日に会長ノミネーとして宣言されます。弁護士であるマローニー氏は、



草の根レベルでクラブをサポート・強化し、奉仕を大切にしている会員制組織としてのロータリーの文化を守り、成長の

ために地域別の新たなアプローチを試みたいと考えています。

今日は、RI: 国際ロータリーについて、話します。

●RI (Rotary International)

国際ロータリーのこと。国際ロータリーは全世界のロータリークラブのネットワークである。ロータリーという言葉それだけで使う場合、通常、国際ロータリーとしての組織全体を指す。国際ロータリーの会員は、各クラブです。

●RIBI (Rotary International in Great Britain & Ireland)

グレートブリテン及びアイルランド内国際ロータリーのこと

37.010. 区域単位—RIBI Territorial Units—RIBI

37.010.1. RIとRIBIの関係 Relationship Between RI and RIBI

RIは、RIBIがRI内の管理上の単独区域単位として運営することを許可する(会長存在)。1927年大会の決議の完全性を十分に認識かつ尊重し、今後もそうし続ける。ただし、RIBIの一般審議会はグレートブリテンおよびアイルランド内の加盟クラブの過半数がRIBIの区域単位の解散または修正を要請する場合は、この限りではない。

37.020. 管理上の単位の制限 Limitations on Administrative Units

RIBI区域単位に等しい、あるいは類似した運営組織または特定の地理的地域の追加を検討することは、RIにとつて得策ではない。(1998年6月理事会会合、決定348号)

●国際ロータリーの目的(Purposes of RI)

RIの目的は次の通りである。

- (1) ロータリーの目的を推進するようなプログラムや活動を追及しているRI加盟クラブとRI地区を支援すること
- (2) 全世界にわたって、ロータリーを奨励し、助長し、拡大し、管理すること
- (3) RIの活動を調整し、全般的にこれを指導すること

●国際ロータリー会長(RI President)

会長はRIの最高役員である。会長はRIの第1の代弁者であり、国際大会とRI理事会の会合を主宰し、事務総長の仕事を見守り、事務総長に助言し、その職責に属するその他の任務を行う。

- (a)RIの第1の代弁者とする。
- (b)すべての国際大会およびすべての理事会の会合を主宰する。
- (c)事務総長に助言する。
- (d)理事会の採択した戦略計画に沿って、その職責に属するその他の任務を執行する。

●RIのテーマ(RI Theme)

RI会長エレクトが国際協議会で発表し、次年度の目標を簡潔に表現したもの。名称については、ターゲット、メッセージ、会長のテーマなど変遷して、現在はRI Themeである。

●国際ロータリーテーマおよびプログラムの強調

会長の年次メッセージは、特別プログラムやテーマ、あるいはその他の方法など、その表現形式を問わず、当該

年度におけるロータリーのプログラムの遂行において、最大の重要性を持つものである。ガバナーがあらゆる適切な方法によって会長の計画を取り上げることは、ガバナーの務めと切離すことのできないことである。例えば、地区大会とその他の地区会合のテーマにするとか、ガバナー月信、公式訪問、その他地区内のクラブやロータリアンと接する場で紹介することなどである。ガバナーの掲げる地区目標や目的は、会長のプログラムまたはテーマに関連させ、これを支えるものとするのが極めて重要である。そして、地区目標や目的について話す場合には、それと関連して必ず会長のプログラムまたはテーマについてははっきりと言及すべきである。会長のメッセージはすべてのロータリークラブとロータリアンに知らされ、理解され、効果的に実行されるべきである。RIテーマは、使用すべき唯一のテーマであって、ほかのテーマの使用は控えなければならない、ということに地区とクラブの全役員の注意を喚起する。

●標語(MOTTOS)

「超我の奉仕」(Service Above Self) および「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」(One Profits Most Who Serves Best)がロータリーの公式標語である。前者がロータリーの第1標語である。後者は、規定審議会で修正が加えられ、“he” → (2004年) “they” → (2010年) “one”

「世界でよいことをしよう」(Doing Good in the World)はロータリー財団の標語である。

「奉仕を通じての親睦」(Fellowship Through Service)は、ローターアクトの標語である。

●RIプログラム(RI Programs)

RIプログラムの用語と定義を次のように定める。

特別プログラム(Special Program):

ポリオプラスは国際ロータリーのプログラムであり、撲滅の証明が達成されるまで、すべてのプログラムに優先する。

常設プログラム(Structured Programs):

RI理事会がクラブと地区に推奨する体系的な活動で、その枠組みと指針も推奨されたものがある。常設プログラムとして認められているのは以下の通りである。

インターアクト、ローターアクト、ロータリー地域社会共同隊、ロータリー友情交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム、青少年交換  
世界ネットワーク活動グループ(Global Networking Groups):

共通する関心事に焦点を当てるために国際規模で組織された個人ロータリアンのグループ。世界ネットワーク活動グループには、次のものがある。

ロータリー親睦活動、ロータリアン行動グループ  
先日、皆様にアンケートを書いていただいたものです。ロータリークラブ・セントラルに、入力(登録)します。

奉仕の機会に関する項目には、次のものがある。

- 危機下の児童、●障害者、●健康管理、●国際理解と親善、●識字・計算能力向上、●人口問題、●貧困と飢餓救済、●環境保全、●都市部の関心事項 (2011年9月RI理事会決定)

幹事報告 (橋本幹事)

1. 地区より、地区大会(11/4～5)開催の案内及び関係書類一式が送られてきています。
2. 地区より、地区大会記念ゴルフ大会開催のご案内が届いています。10月30日(月)7:40～ 南紀白浜ゴルフ倶楽部にて
3. 地区より、クラブ米山委員長会議開催の案内が届いています。松村米山記念奨学会委員長に伝えました。
4. 地区より、「各クラブの細則についてのアンケートにご協力をお願い」が届いています。脇村情報・研修委員長に渡しました。
5. ロータリー米山記念奨学会より、「ハイライトよねやま」が届いています。
6. 地区より、青少年交換長期・短期派遣学生の帰国報告会及び受入留学生のオリエンテーションのご案内が届いています。成川(雅)国際奉仕委員長に渡しました。
7. 他クラブの例会変更のお知らせが届いています。
8. 2018ロータリー国際大会トロントの案内が届いています。成川国際奉仕委員長に渡しました。
9. クラブ社会奉仕委員長会議に井上委員長の代理で参加しました。RI会長のテーマ「変化をもたらす」について、社会奉仕活動に照らして参加者で討論会を行った。新しい風を起こすのは難しいが、各クラブとも優れた社会奉仕活動を行っており、その活動をより良いものに発展させることも、社会の中に良い変化を与えることになる。我々有田RCが手掛けた有田川クリーン作戦のように、RCが事業を始め、徐々に地域を巻き込んで、主体がRCから他に移っていくような活動は素晴らしい、との言葉を岡本ガバナーから頂きました。
10. 8月31日にロータリーデーを開催します。2640地区米山奨学生達と一緒に有田市、観光協会、商工会や経営者協会にも協力を頂き、有田地区の観光スポットのPR活動及び奉仕活動で地ノ島初島神社の清掃を行います。本日例会終了後に米山記念奨学委員会を開催し、当日の詳細を検討します。その検討も踏まえ来週皆様にご案内をいたします。



P7-P13 会員増強・新クラブ結成 これまでの殻を破るから

会員増強の成功事例や新クラブの設立の工夫などの事例があり、各クラブの年会費や入会金、例会の回数など掲載されていて参考になります。

P15-P19 地元の力を生かす ロータリー地域社会共同体(RCC)がつなぐ地元ボランティアとロータリークラブのネットワークから

RCCは地域RCがスポンサーとなり結成された地元の人々の知識や才能を地域社会の活動にもたらし団体です。4つの事例を紹介しています。RCCはスポンサーロータリークラブと協力してグローバル補助金を申請することもできます。RCCは、ボランティアを募り、ロータリーの活動に関心を持ち、ロータリーが何であるのかを人々に知ってもらいたい理想的な活動であると述べています。

P24-P30 アトランタ国際大会 財団の100周年を祝うから

国際大会の報告を記載  
ビルゲイツ氏は2017-2018年度から3年間にわたって、ロータリアンが集めた寄付(年間5000万ドルを上限)に対して、その2倍の補助金を拠出することを約束しました。

●縦組み

P4-P8 地域は本当に元気になれるのか? (一社)日本ケーブルテレビ連盟理事長 吉崎正弘 から

地域を元気にするためには高齢者が元気で生き生きとし「二流の都市づくりをやめ、一流の田舎づくりを目指そう」そこには地元中小企業が「自分がやるしかない」というつもりで取り組まなければならない。そのような経営者の集まりがロータリークラブであると述べています。

P19 友愛の広場 うれしい恐怖体験 松原RC 妻谷憲一さん

アルパトロス(ダブルイーグル)を体験されたお話。

委員会報告

\* 米山記念奨学会委員会(松村委員長) 宮井清明君より特別寄付を頂きました。

ロータリー友誌

(上野山(栄)R広報副委員長)

ロータリーの友誌8月号

●横組み

P3 RI会長メッセージ ストーリーを物語る数字から  
RCの公共イメージ活動、会員増強のための資料として活用するために各クラブの人道的奉仕のために費やした現金・現物寄付の金額とロータリーの名の下に行った活動に費やした時間の2つの数字をロータリークラブ・セントラルにてロータリー本部へ提出を呼びかけています。

卓話

「地方創生について」



和歌山県知事  
仁坂 吉伸 様

## 1 和歌山のこれまで

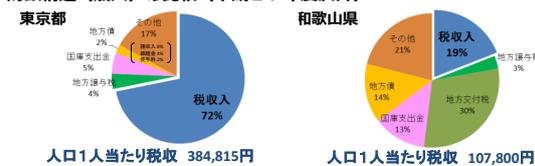
- 人口：1995年頃を境に死亡者数が出生者数を上回り、自然減の状態が続く  
1990年代前半を除き、転出者が転入者を上回る一貫した社会減
- 県内総生産：構造転換が進まず、徐々に全国での位置が低下していたものの、2003年を底に上昇

	1960年	1970年	1980年	1990年	2000年	2010年	2015年
人口(千人)	1,002	1,043	1,087	1,074	1,070	1,002	964
自然増減(人)	7,202	9,169	4,723	845	▲659	▲4,462	▲5,519
社会増減(人)	▲5,512	▲6,295	▲3,388	553	▲2,615	▲2,225	▲3,980
県内総生産(億円)	1,649	6,838	19,248	29,893	34,168	35,160	2013年 35,833 (38位)
製造品出荷額(億円)	2,006	9,334	26,198	20,125	22,654	26,769	2014年 29,950 (28位)
一人当たり県民所得(千円)	113.6	491.2	1,466	2,312	2,518	2,638	2013年 2,816 (24位)

2

## 2 何故こうなったか I 社会全体のシステム (税)

### 財政構造(歳入)の比較(平成27年度決算)



### 税収内訳の比較(平成27年度決算)



7

## 1 和歌山のこれまで (和歌山県長期人口ビジョン)

- 日本創成会議(増田寛也座長)が、「ストップ少子化・地方元気戦略」を発表(H26.5)  
・若年女性が今後30年で半減する自治体を「消滅可能性都市」と位置づけ、将来的に行政サービスの維持が難しくなる可能性のある自治体として、896自治体を公表

- ①国民の希望出生率 1.8の実現
- ②地方から大都市へ若者が流出する『人の流れ』を変える

### 和歌山県の長期人口ビジョン

- このまま何も対策を講じなければ
- ・2040年に約70万人程度、2060年には50万人程度まで激減



### 和歌山県のあるべき将来人口

「高齢者1人を現役世代2人で支える人口形態」を達成するため、2060年に人口70万人を確保

1

## 2 何故こうなったか I 社会全体のシステム (税)

### 税源の偏在性

- ・地方消費税 1.7倍
- ・地方法人二税 6.1倍

人口1人あたり税収額  
最大(東京)/最小の倍率

### 法人事業税の課税

- 法人の事務所等が2以上の地方団体にある場合、課税権を調整
- 製造業は従業員数で、非製造業は半分を従業員数半分を事務所数で分割  
→従業員数が多いところが有利

### 法人事業税額の比較

	法人事業税額	割合
東京都	892,771億円	25.4%
和歌山県	14,649億円	0.4%
全国計	3,509,505億円	

### 工場を地方に誘致する場合

道路、工業用水や下水道等の整備、緩衝緑地の整備などの環境投資等が必要

それを支えるのが地方財政

東京は、インフラが整っているため、新たな投資の必要性が低い

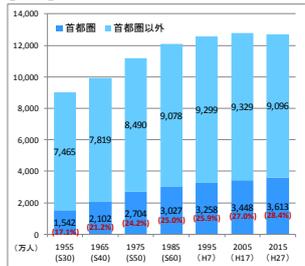
8

## 2 何故こうなったか I 社会全体のシステム (東京一極集中)

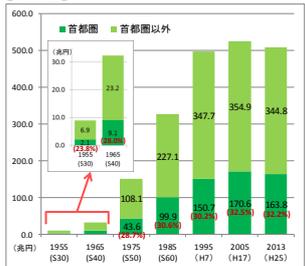
戦後70年間で人も富も首都圏への集中が進んでいる

[総人口に占める首都圏の割合] 1955年 17.1% → 2015年 28.4%  
[総生産に占める首都圏の割合] 1955年 23.8% → 2013年 32.2%

### 【人口】



### 【総生産】



(首都圏：東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県)

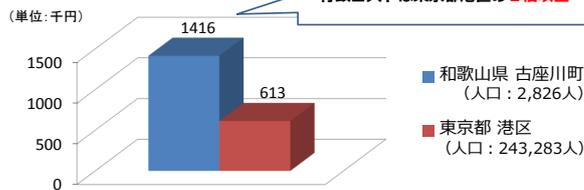
4

## 2 何故こうなったか I 社会全体のシステム (行政コスト)

### 過疎が進むほど、人々の生活を維持するための行政の費用が大変

《参考：一人あたりの行政コスト》

和歌山県古座川町の一人あたりの行政コストは東京都港区の2倍以上



9

## 2 何故こうなったか I 社会全体のシステム (東京一極集中)

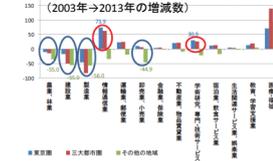
### 過去10年間で就業者数の増減



### 東証一部上場企業本社所在地の内訳



### 過去10年間で産業別・地域別 就業者数の増減



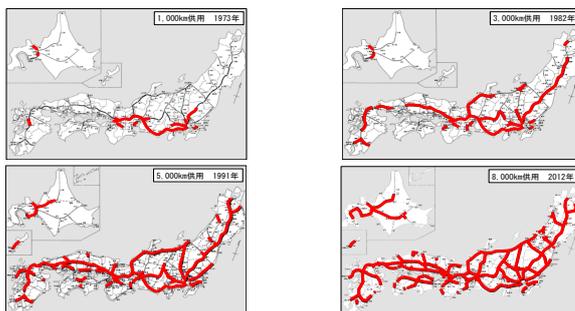
### 外資系企業本社所在地の内訳



5

## 2 何故こうなったか I 社会全体のシステム (公共投資)

大都会から幹線が整備され、だんだんと地方へ



出典：全国高速鉄道建設協議会

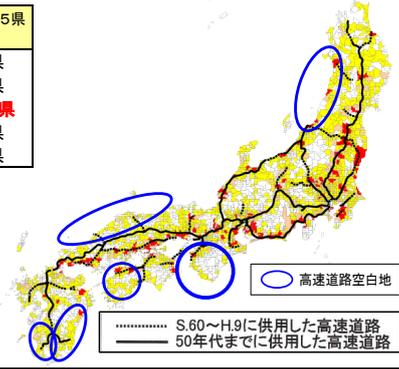
10

## 2 何故こうなったか I 社会全体のシステム (公共投資)

高速道路整備が遅れた地域は人口減が激しく、工場立地も進まず

1位	秋田県
2位	青森県
3位	<b>和歌山県</b>
4位	高知県
5位	山形県

40~60
20~40
1~20
1~0



※出典：産業立地（日本立地センター）

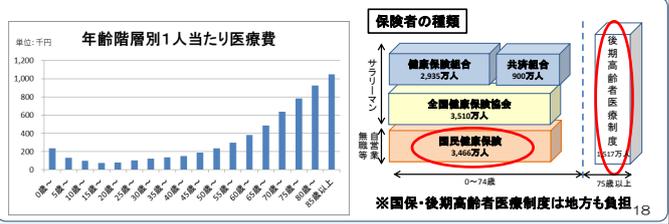
## 2 何故こうなったか I 社会全体のシステム (福祉)

高齢化の進展に伴う財政負担

	1980	1990	2000	2010	2014
高齢化率	9.1%	12.1%	17.4%	23.0%	26.0%
国民医療費/国民所得額	5.2%	5.3%	6.9%	9.3%	11.2%

	和歌山県	東京都
高齢化率	30.5%	22.5%
県民医療費/県民所得額	12.8%	6.6%



※国保・後期高齢者医療制度は地方も負担

## 2 何故こうなったか I 社会全体のシステム (公共投資)

○高規格幹線道路 (全体構想：約14,000km)  
 ・「四全総」(昭和62年6月30日閣議決定)において、21世紀に向けた多極分散型の国土を形成するため「交流ネットワーク」構想を推進する必要があるとして、高規格幹線道路網14,000kmの形成が必要とされた。



## 2 何故こうなったか I 社会全体のシステム

社会全体はどうしたらよいか ~変革のために~

(提言)

- 1 地方にお金が回るように、全体の税収構造を変える
- 2 高齢化、過疎化が進み、住民1人あたりの行政コストが高くなる地域に対し配慮する
- 3 地方が発展できる条件整備として、地方に必要なインフラを供給する
- 4 地方での研究開発投資を活性化させるような助成金を復活し、地方で農業に容易に飛び込めるように、だれでも農業法人が設立できるような制度をつくる
- 5 東京都には住民の必要に応じた行政サービスを提供させる  
 → 高コスト化により民間経済が不利になり、地方移転が促進

本当の地方創生とは、計画を作り、プロジェクトを作り、これによって地方を盛り立てるといった部分的、人為的な話ではなく、国全体の制度を見直して、経済合理性に基づいた経済活動を通じて実現していくこと

どんな制度がいいか、どういふ事をすれば、民間の経済活動を通じて自然と地方創生が出来るのか...  
 地方創生としても、このようなことを政府全体として考えるべきではないか

## 2 何故こうなったか I 社会全体のシステム (研究開発投資)

●地域での産学官連携研究開発に対する国の支援が縮小したまま

国の予算額推移

	事業仕分け前[H21]	事業仕分け後[H22~]	現在[H29]
文科省	予算額:136億円<H21> ◆人件費だけでなく、設備投資等も含めて柔軟に使える研究費 ◆これまでも県はH15~H20年度にかけて3事業計約17億円を活用。	予算額:実質0円<H27> (新規事業専断打ち切り) ◆予算額が大幅減。 ◆人件費中心に重要され硬直的に。	予算額:24億円<H29> ◆新事業が立ち上がったが、支援対象は大学に。 ◆企業が主体になれない。
経産省	予算額:65億円<H21> ◆設備投資など柔軟に使える研究費	予算額:2.8億円<H24> ◆予算額が大幅減。 ◆補助率も10/10から2/3に重要され、企業の負担が発生。	予算額:15億円<H29> ◆新事業が立ち上がったが、支援対象はベンチャー企業等に。

●国の事業仕分け以降、中小企業が活用できる産学官連携予算が縮小し、やや持ち直しているが十分な水準に至っていない。

## 3 何故こうなったか II 和歌山自身の責任

1 変わらない産業構造

- ・県内総生産の伸び率は全国で最下位(47位)。
- ・製造品出荷額(44位)や一人あたり県民所得の伸び率(36位)も低い。

2 公共投資の遅れ

- ・高速道路の事業化から供用開始までの期間が長い。
- ・改良完成区間延長率が全国ワースト1(和歌山:11.7% 全国区平均:33%)

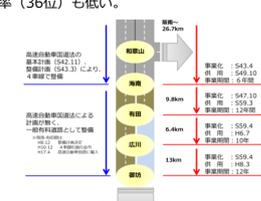
※改良完成区間延長率 = 改良率100%の区間の延長合計 / 全延長  
 (平成17年度 全国道路・街路交通情勢調査をもとに作成)

3 県内における大学の少なさ

- ・全国の大学数及び在学者数は、昭和40年代及び昭和60年代~平成初期にかけて増加しているものの、和歌山県の大学のうち昭和30年以降の新設大学は、近畿大学生物理工学部のみ1大学のみ。

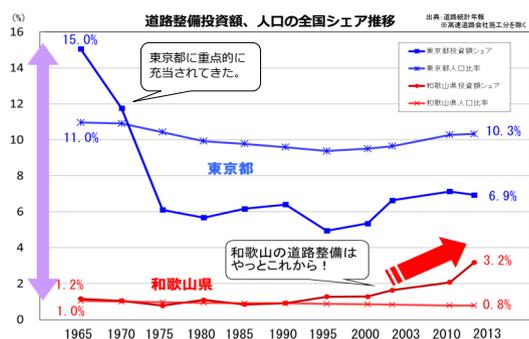
4 無秩序な市街地の拡大

- ・高度経済成長とともに、市街地を拡大していった結果、中心部の空洞化が加速。
- ・資産価値の減少や行政コストの増大など、都市の活力が大幅に低下。



## 2 何故こうなったか I 社会全体のシステム (公共投資)

道路整備は、まずは東京に集中して行われた。だんだんと地方へ及んでいる。



## それではどうしたらよいか

(基本的な政策の考え方)

- 1 自然減を減らし、自然増に転換。社会減を抑制  
 [自然減対策] 子育て政策、女性活躍  
 [社会減対策] 民間活動の前提となるインフラ整備等
- 2 前向きに進もうという人たちのためのインセンティブの創設  
 →技術開発支援等の産業政策
- 3 正しい知識を持って人生の選択をできるように若者の育成  
 →道徳教育、郷土教育、人づくり、県内就職(和歌山の暮らしやすさ)

ステップ1 まち・ひと・しごと創生総合戦略(2015年→2019年)

ステップ2 長期総合計画(2017年→2026年)

ステップ3 新政策  
 長期総合計画で目指す将来像の実現に向け、毎年の「新政策」を推進